

国立病院機構 西新潟中央病院

— 地域とともに、日々とともに。「今」を伝えるもの語り —



かれん

vol.  
14  
2025年  
2月

Care + Nishinigiata Chuo Hospital 2025 February



国立病院機構 西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号 TEL.025-265-3171 FAX.025-231-2831

<https://nishinigiata.hosp.go.jp/>





message

患者さんに共感し  
よりそい貢献するところ

当院は、院内の風景や催しをデザインしたオリジナルカレンダーを毎年制作しています。そこにはチーム西新潟の仲間たちに伝えたい病院幹部のメッセージも添えてあり、私からは次の2つです。

『チーム西新潟 思いやりあふれる専門家集団』(1・2月)

『共感・礼節・向上心 病院職員のパスポート』(3・4月)

患者さん本位の病院として、  
こうありたい、こうあってほしいとの願いを込めました。  
私の2025年の目標は、「当院に勤務するひとりひとりが、  
働きがいと自らの成長を日々実感でき、  
《ここで勤務していることが幸せ》と思える病院づくり」です。  
チーム西新潟の仲間たちが、充実感を持って  
その使命を果たせるよう後押ししたいと思います。

西新潟中央病院(チーム西新潟)の使命：ホスピタル・ミッション

- 専門性が高く安心・安全な医療を実行し、患者さん・ご家族の笑顔に貢献します。
- 地域社会を支えるとともにグローバルな視点も備え持ち、新潟と世界の今に貢献します。
- 若い医療人の育成にも力を注ぎ、新潟の未来に貢献します。
- 活発な臨床研究と情報発信を通じ、医学の進歩と知識の普及に貢献します。

※チーム西新潟：当院で勤務するすべての職員

国立病院機構 西新潟中央病院  
病院長

おおだいら てつろう  
大平 徹郎



かれん

vol.14

Care+Nishinigiata Chuo Hospital  
2025 February

かれん(Care+N)とは、ケア(いたわる心)と、  
西新潟のNを組み合わせでできた名前です。  
優しさと親しみを込めて呼んでもらえるように。  
そんな思いから生まれました。

contents

03

Care+N person interview

吉田 大輔

05

Care+N forum

小山 朱里 / 石垣 宥映 /  
八木澤 朱音 / 石田 理奈

07

連携する地域の医療機関をご紹介します。  
まさご内科クリニック

08

Care+N letters

[「スヌーズレン」で楽しく祝う あかしのクリスマス]  
[ 当院職員が取り組む研究の集大成 まさご集談会院内研究発表会 ]  
[ まさかの緊急時も慌てずに! 防火防災訓練を実施 ]

09

information



今回は、医療ソーシャルワーカーとして働くスタッフのひとりをご紹介します。  
患者さんご家族が安心して暮らすための相談援助から、  
てんかんに関する地域活動のコーディネートまで幅広く担当しています。

患者さんそれぞれの  
想いによりそい、  
伴走していききたい。



患者さんご家族はもとより、より多くのひとびとに  
てんかん啓発活動を届けて、誰もが暮らしやすい社会に。

よしだ だいすけ

医療社会事業専門職 吉田 大輔

#### 患者さんの心配事を伺い、ともに問題解決をめざします。

医療ソーシャルワーカーとは、一般病棟においては、社会福祉士という国家資格を持っていて、患者さんご家族に対して相談援助を行う職種です。療養中の心理的・社会的問題の解決と調整援助、退院援助、社会復帰援助、受診・受領援助、経済的な問題の解決と調整援助、それから地域活動の6つが指針となっています。私は主に外来の患者さんご家族の対応を行っており、診断直後の不安な思いや経済的な問題、ご家族のことなど気になることをご相談いただいて、問題解決に必要な援助を行ったり、院内外の関係機関と連携したりしながら患者さんのQOL向上をめざしています。



#### てんかん支援拠点病院の役割を担い、地域活動を開催。

私たちの6つの業務のひとつ「地域活動」は、患者さんが安心して生活できるよう、地域の方々に理解を求めて普及を進めるものです。特に当院は新潟県唯一のてんかん支援拠点病院でもあることから、私にてんかん診療支援コーディネーターとして、てんかんに関する市民講演会、医療従事者向けの研修会などの企画・運営も行っています。

#### 世界中で行われる「パープルデー」の活動に参加しています。

毎年3月26日はてんかん啓発記念日「パープルデー」。カナダ在住のキャシディー・メーガンさんが2008年に創設したもので、啓発活動に賛同し、てんかん患者さんをサポートしたいというひとびとが紫色のものを身につけてその意思を表明します。当院でも毎年記念日前後の3日間は、てんかんセンターの外来・病棟を紫色に装飾し、主に小児科の患者さんに風船を配ったり、スタッフも紫色のアイテムを着けて参加しています。



#### ひとりでも多くの方に、正しい知識と理解を広めたい。

今年は「パープルデー」の前後6日間、デンカビッグスワンスタジアムが紫色にライトアップされることになりました。たくさんの方に興味を持っていただき、てんかん患者さんとそのご家族はもちろん、当事者以外の方々にも、てんかんの正しい知識と理解を深めることの大切さを伝えたいと思っています。それが間接的にでも、少しずつでも、社会が変わっていく力になると感じていただけたらうれしいですね。

予告

デンカビッグスワンスタジアム パープルデー ライトアップ!  
2025年3月23日(日)~3月28日(金) —ぜひ、ご覧ください!—



© DENKA BIG SWAN STADIUM



# 毎日が勉強、一生懸命！ 看護師3年目のホープたち。

2025年春、入職3年目を迎えるナース4人が集まり、座談会を開催。  
 やりがいや自分自身の成長など、日々の業務で感じていることを聞きました。

Q これまで2年間で振り返ってみて、  
 いかがですか？

**小山:**1年目は緊張の連続でした。今は後輩ができて「がんばらなきゃ」という思いと、先輩方のサポートをしていくことでより自覚が出てきたと思います。  
**八木澤:**2年目になって受け持ちの患者さんができましたが、まだまだ覚えることはたくさんあります。  
**石垣:**ひとりで行う業務や任されることも増えたので、責任感を感じる場面が多くなりましたね。  
**石田:**初めは不安でしたが、先輩のやさしい指導のもと、人としても大きく成長できた2年間だったと思います。



Q 医療従事者としてどんなことを  
 心がけていますか？

**八木澤:**人の命をお預かりするという部分で、根拠をもった看護を心がけています。不安なことは先輩に聞いたり、自己学習をして補っています。  
**石田:**6病棟には0歳のお子さんから90歳近くの方までいらっちゃって、小さなことで体調が変わりやすいので、常に気を配っています。  
**小山:**2病棟は病院が生活の場となる患者さんが多いので、どうしたら快適に過ごしていただけるか、ひとつひとつ自分に置き換えて、よく考えて業務に当たっています。  
**石垣:**3病棟は人工呼吸器や点滴を必要とする患者さんが多いので、命を預かる責任感や、自分が患者さんに与える影響を心に置いています。



Q 先輩から教わったことで  
 印象的だったことは？

**石垣:**心に残っているのは「患者さんにとっては看護師が新人でもベテランでも変わらない。新人だからできないではだめ」という言葉です。  
**小山:**患者さんを不安にさせないということですね。私も、入院中の患者さんのご家族が少しでも不安を軽減できるよう、前回の面会からの変化や行事の様子など、詳しくお伝えするといいわれました。  
**石田:**私は先輩方を見ていて、患者さんにご家族の意向に沿う努力が大切だと感じます。患者さんのうれしい様子が見られるので、私もそうなれるよう努力したいです。  
**八木澤:**看護技術や看護ケアの他にも、日々お互い声を掛け合い、助け合いながら看護ケアに当たることなど、働く上で大切なこともたくさん学びました。



Q お仕事で感じるやりがいを  
 教えてください。

**小山:**「この患者さんはこういう時うれしいんだな」と感じるようになったことです。私の名前を覚えてくれ、私の話で笑ったりしてくださった時も嬉しいです。  
**石田:**それは私も感じます。やっぱり患者さんやご家族の笑顔を見ると、看護師になってよかったなと思います。  
**八木澤:**私は、入院期間が長い患者さんが入院当初よりも良くなって退院される時、本当にうれしいです。また、忙しいなか看護師のメンバーと協力しながら1日をやり遂げた時にもやりがいを感じます。  
**石垣:**経験を積んできて、できる看護ケアが増えたことも、私たちのモチベーションになっていると思います。これからもがんばりましょう！



重症心身障害児者病棟(2病棟)  
 こやま あかり  
**小山 朱里**  
 もっと勉強して、患者さんにも周りのスタッフにも頼られる看護師になるのが夢です。

呼吸器病棟(3病棟)  
 いしがき ゆあ  
**石垣 宥映**  
 看護師としてはまだまだ未熟、でも1日も早く先輩に頼りにされるよう成長したいです。

脳神経内科病棟(7病棟)  
 やぎさわ あかね  
**八木澤 朱音**  
 常に患者さんの目線に立って、いい関係を築きながら、信頼される看護師をめざします。

小児神経内科病棟(6病棟)  
 いしだ りな  
**石田 理奈**  
 患者さんの病状を踏まえ、少しでも希望によりそった看護ができるようにがんばります。



連携する地域の医療機関をご紹介します。

/ partner file /

## 内科・消化器内科・循環器内科 まさご内科クリニック

地域のみなさまに  
選ばれるクリニックを  
めざしています



partner file 007

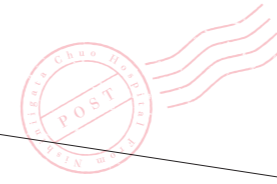


国立病院機構 西新潟中央病院の目と鼻の先に位置する真砂メデイカルゾーンに2024年10月開業しました。消化器内科医と循環器内科医が在籍し、患者さんの症状に合わせた内科診療を行っています。医師が2名いることで、ひとりおひとりの検査や治療に時間をかけて向き合えることは当院の特長のひとつです。医療的なお話しはもちろんですが、雑談のなかから患者さんのご様子を知ること、そして同時に私たちのことを知っていただくことも大切にしたいと考えています。また、看護師や受付スタッフが

橋渡し役となり「クリニック全体でみなさまを支えている」という思いを持って業務に臨んでおりますので、医師に聞きにくいことや診察室で言い忘れたことなど、どんなことでもスタッフにお気軽に相談ください。基本的に予約制ではありますが、予約なしで来院されてもお断りすることはありません。大きな病院とはまた違う、小さなクリニックだからできることを信条に、患者さんの声に耳を傾け、一緒に考えていきたいと思っています。



内科・消化器内科・循環器内科  
まさご内科クリニック  
消化器内科医 高橋 祥史 先生 循環器内科医 富田 幸治 先生  
小林 麻里 看護師長  
data  
〒950-2074 新潟市西区真砂3-11-6-1  
TEL.025-201-7213  
https://masago-naika.com/



## Care+n letters

西新潟中央病院のさいきんの出来事をお知らせします

### topics 01

#### 「スヌーズレン」で楽しく祝う あかしのクリスマス



ピカピカの空間で  
楽しいひととき

通所「あかしあ」では、光や音、香り、動きを楽しむ空間で患者さんとスタッフがともにリラックスした時間を過ごす「スヌーズレン」を取り入れたクリスマス会を開催。サンタさんやトナカイさんも訪れ、賑やかに楽しみました。



### topics 02

#### 当院職員が取り組む研究の集大成 まさご集談会院内研究発表会

12月12日、第11回まさご集談会院内研究発表会が行われました。当院の医師や看護師をはじめ各部署の職員たちが力を注いできた、さまざまなテーマの研究が発表され、最後に大平院長による特別講演で締めくくりました。



それぞれの研究を  
プレゼンテーション



### topics 03

#### まさかの緊急時も慌てずに！ 防火防災訓練を実施

12月13日、病棟の火災を想定した防火防災訓練が行われました。患者さんを安全に搬送できる「エアーストレッチャー」を使用した避難方法を学ぶなど、防災への意識を高めました。万が一の事態にも素早い初期対応が行えるよう備えます。



安全を確保しつつ  
迅速な避難誘導を





外来診療担当医表 [2025.2]

[受付時間]8:30~11:30 [休診日]土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前 (予約制)	大平 徹郎 (呼吸器/睡眠外来)	宮尾 浩美	森山 寛史	宮尾 浩美	松本 尚也
		森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也	桑原 克弘	木村 夕香
		木村 夕香	松山 菜穂		松山 菜穂 (隔週)	
	午後 (予約制)	松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		
呼吸器外科	午前	(手術日)	渡辺 健寛	(手術日)	古泉 貴久	渡辺 健寛
整形外科	午前		藤澤 純一	藤澤 純一	(手術日)	榮森 景子
小児整形外科	午後 (予約制)					榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	高橋 哲哉	徳武 孝允	高橋 哲哉	長谷川 有香
	午後 (予約制)		黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
機能脳神経外科	午前	福多 真史	(手術日)	福多 真史	増田 浩 (再来のみ)	(手術日)
		白水 洋史		伊藤 陽祐	白水 洋史 (再来のみ)	
	伊藤 陽祐					
午後 (予約制)				太田 智慶 (再来のみ)		
てんかん科	午前 (予約制)		長谷川 直哉 (新患のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)
	午後 (予約制)		齋藤 奈つみ (再来のみ)		長谷川 直哉 (再来のみ)	
神経小児科	午前・午後 (予約制)	三浦 雅樹 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	放上 萌美 (再来のみ)	遠山 潤	小林 悠
		山田 慧 (再来のみ)	小林 悠 (再来のみ)		三浦 雅樹	放上 萌美
	午後 予防接種(予約制)	小林 悠 (予防接種)	三浦 雅樹 (予防接種)	山田 慧 (予防接種)	山田 慧 (予防接種)	放上 萌美 (予防接種)
難病リハビリ	9:00~15:00	出塚 真史	難病リハビリ 担当医	大学医/黒羽	若杉 尚宏	難病リハビリ 担当医
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。

予約専用窓口 / TEL.025-265-2299

□翌日以降の予約(平日13:00~17:00) □当日の診療希望(平日9:00~11:00)

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付 / 8:30~11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。

□休診日 / 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171(代表)へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】

A.有明線

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

B.坂井輪コミュニティバス

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

C.西小針線(本数が多い)

「小針十字路」下車徒歩約10分

【JR】

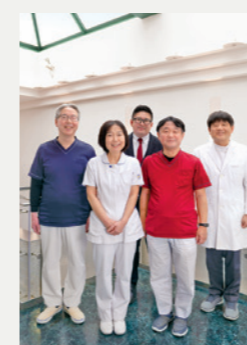
越後線「小針駅」からタクシー3分

【車】

新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue



表紙の話: 多職種の視点から問題を検討し、事故防止につなげています。

院内で発生したインシデント(医療業務上の注意すべき出来事)について各部署の代表者が検討する、医療安全カンファレンス。患者さんに対する看護行為やお薬に関することなど、さまざまな場面で起こった問題点を各部署で分析し、報告書にまとめています。メンバーは週に1回集まり、その改善策の妥当性についてそれぞれの職種の視点から検討・評価を行い、次の事故防止にしっかりと役立てています。左から、川上喜久 臨床検査技師長、西村弘恵 医療安全管理係長、山本昌明 専門職、平岡潤也 薬剤部長、遠山潤 副院長(医療安全医療情報管理部長、医療安全管理室長)。他に蜂須賀純子 副看護部長、伊藤陽祐 脳神経外科医長の計7名です。

かれん 2025年2月 vol.14 Care+Mishinigiata Chuo Hospital 2025 February

〈発行人〉病院長 大平 徹郎 〈編集人〉丸橋 光明 高橋 篤史